

情報公開・個人情報保護審議会 諮問・報告事項

件名	新宿区立学校の学校徴収金に係る自動払込情報の送受信のための外部結合について（品目及び対象の拡大等）
----	---

内容は別紙のとおり

条例の根拠

【諮問】

◇第17条第1項第4号（外部電子計算機との結合）

（担当部課：教育委員会事務局学校運営課）

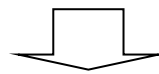
事業の概要

事業名	新宿区立学校の学校徴収金事務
担当課	学校運営課
目的	新宿区立学校が学校徴収金（学校管理下における教育活動等において児童・生徒の保護者が負担すべき費用のうち、学校が徴収し、及び執行するものをいう。以下同じ。）を徴収する際、ゆうちょ銀行の提供するインターネットバンキングサービス『ゆうちょ Biz ダイレクト』を利用することにより保護者指定口座から安全・迅速・確実に引落しを実施することを目的とする。
対象者	新宿区立学校に在籍する児童・生徒の保護者（約 13,000 人）
事業内容	<p>給食費や副教材費をはじめとする学校徴収金については、区立学校全校（40 校）において、保護者から提出された口座引落とし申込書により、口座引落とし手続きを行い、ゆうちょ銀行と契約した学校長口座にて管理している（平成 11 年度第 4 回本審議会承認済）。</p> <p>1 現行</p> <p>現在、学校徴収金のうち小学校の給食費については、ゆうちょ銀行が提供するインターネット伝送サービス（ゆうちょ銀行の伝送専用サイト）による口座引落としを実施している（平成 27 年度第 9 回本審議会承認済）。</p> <p>また、小学校の給食費以外の学校徴収金については、ゆうちょ銀行が提供する学校徴収金専用のパソコンソフトを使用して作成したデータを DVD に保存し、ゆうちょ銀行の窓口で直接受け渡すことで、口座引落としを実施している。</p> <p>2 変更の理由</p> <p>この度、小学校の給食費の徴収において利用している、ゆうちょ銀行が提供するインターネット伝送サービス（ゆうちょ銀行の伝送専用サイト）は、令和 4 年 3 月をもって利用ができなくなることになった。さらに、小学校の給食費以外の学校徴収金の徴収において利用しているゆうちょ銀行が提供する学校徴収金専用のパソコンソフトについては、今後新しい OS に対応したソフトの提供は実施されないことになったことに加え、パソコン本体の老朽化も進んでいる。</p> <p>そのため、自動払込情報の送受信については、ゆうちょ銀行が平成 31 年 4 月から提供を開始しているインターネットバンキングサービス『ゆうちょ Biz ダイレクト』へ移行し、業務を継続する必要がある。</p> <p>3 変更後</p> <p>今後は全ての学校徴収金の品目において、インターネットバンキング『ゆうちょ Biz ダイレクト』による徴収方法を、全ての区立小学校、中学校及び特別支援学校で実施する。</p>

なお、インターネットバンキング『ゆうちょ Biz ダイレクト』への移行については、現在小学校にて実施しているインターネット伝送サービス(ゆうちょ銀行の伝送専用サイト)と比べ、より一層セキュリティ対策が強化される。また、中学校及び特別支援学校で実施しているゆうちょ銀行へのDVD受け渡し時における紛失事故等を防止することができる。

【現行の自動払込情報の送受信方法】

学校区分	品目	
	給食費	その他の学校徴収金
小学校	インターネット伝送サービス(ゆうちょ銀行の伝送専用サイト) (課題:令和4年3月にサービス終了)	DVDによるデータの受渡し (課題:データ作成時に使用する学校徴収金専用のパソコンソフトについて、今後、新しいOSに対応したパソコンソフトの提供はない。また、パソコン本体の老朽化も進んでいる。)
中学校・特別支援学校	DVDによるデータの受渡し (課題:データ作成時に使用する学校徴収金専用のパソコンソフトについて、今後、新しいOSに対応したパソコンソフトの提供はない。また、パソコン本体の老朽化も進んでいる。)	



【変更後の自動払込情報の送受信方法】

学校区分	品目	
	全ての学校徴収金	
小学校	インターネットバンキング『ゆうちょ Biz ダイレクト』	
中学校・特別支援学校		

※学校徴収金専用パソコンは、区が情報を復元できないようデータ消去し廃棄する。

※個人情報の流れは、資料33-1のとおり

件名 新宿区立学校の学校徴収金に係る自動払込情報の送受信のための外部結合 について(品目及び対象の拡大等)

※太字ゴシック(下線)部分が、平成27年度第9回本審議会承認済の内容からの変更箇所

保有課(担当課)	新宿区立学校(学校運営課)
登録業務の名称	学校徴収金
結合される情報項目(だれの、どのような項目か)	【新宿区立学校に在籍する児童・生徒の保護者に係る情報項目】 ゆうちょ銀行の口座の記号・番号・氏名、 学校徴収金 の引落とし金額、番号、自動払込処理結果
結合の相手方	株式会社ゆうちょ銀行
結合する理由	<p>1 小学校の給食費において既に外部結合を実施し対応している校務用パソコンからのインターネット伝送による口座引落としについては、インターネット伝送サービスが令和4年3月に終了し、新たに提供されるインターネットバンキングサービスへ移行する必要があるため。</p> <p>2 小学校の給食費を除いた学校徴収金において実施している、DVD を利用したデータの受け渡しについては、今後新しいOSに対応したデータ作成用のパソコンソフトが配布される予定が無く、データ作成に使用しているパソコンも老朽化が進んでおり、校務用パソコンを用いたインターネットバンキングサービスによる伝送に対応する必要があるため。</p>
結合の形態	インターネット回線を介して、ゆうちょ銀行の伝送専用サイト(ゆうちょ Biz ダイレクト)にアクセスする。送信内容は、256bitSSL方式により暗号化を行う。
結合の開始時期と期間	令和3年4月1日から(予定) (次年度以降も、同様の外部結合を行う。)
情報保護対策	<p>【運用上の対策】</p> <p>1 伝送専用サイトの利用者権限を担当者ごとに設定し、登録者(担当者)が作成・登録したデータを、承認者(管理職)が確認・承認を行ったうえで送信者(別の担当者)が送信する。</p> <p>2 個人情報記載された書類及びカード型ハードトークン(参考33-1参照)については、施錠できるキャビネット等に保管する。</p> <p>【システム上の対策】</p> <p>1 インターネットにより情報を送受信する場合は、その内容を256bitSSL方式により暗号化する。</p> <p>2 外部からの不正アクセス対策としてファイアーウォールを設置する。</p> <p>3 伝送専用サイトにログオンする際には、ID及び暗証番号によるユーザー承認を行い、ユーザ毎に利用できる機能にアクセス権限を設定する。</p> <p>4 個人情報を不正に搾取するフィッシング対策として、EVSSL証明を使用する。(正当な伝送専用サイトにアクセスした際に、ブラウザのアドレスバーにサイト運営者名等を表示させる。)</p> <p>5 カード型ハードトークン(参考33-1参照)によりワンタイムパスワードを生成し、生成されたワンタイムパスワードを入力し、第三者にパスワードが盗み取られることによる不正取引を防止する。</p>